萱瀬☆物語

大村市立菅瀬小学校 学校だより 第22号 令和5年2月9日発行 校長 髙以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

学校給食週間

~給食に感謝!~

給食に携わるいろいろな人の苦労を知り、感謝の気持ちを 表すとともに、食べ物を大切にしようとする心を育てる。ま た、毎日の食事が健康に過ごすために大切なこと・今の食事 が将来の自分自身の身体を作っていることを知り、好き嫌い をせずに食べようとする態度を育てること等を目的として、 1月24日~1月30日の期間を給食週間としています。



【栄養教諭による食育指導】

本校でもこの週間に合わせ、以下のような取組を行いました。

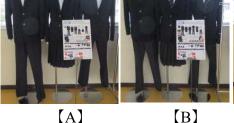
- (1)給食集会(給食委員会による給食クイズ)
- ②標語紹介
- ③栄養教諭 校内放送講話(雪のため担当の加藤先生代読)
- ④食育指導(山本栄養教諭)

食育指導では、小学校給食センターで働く人(調理員さんやトラックの運転手さん)のこと や仕事内容等、毎日時間に遅れないように市内小学校約7000食もの給食(中学校分は、中 学校給食センターで別に調理)を作ってくださっていることを学び驚いていました。

ご家庭でも、身体を作り健康を守る源である「食事の大切さ」について、お話しいただけれ ばと思います。

中学校制服巡回展(児童·職員対象) 1月23日~24日

令和6年度中1牛(現5年牛)から、市内全中学校の制服が変わる予定ですが、その制服 の巡回展が本校にも来て、本校児童や職員も見る機会がありました。4種類ありましたが、第 一印象は、どの制服もおしゃれで着やすそうか感じでした。子どもたちの感想は、お子さんに お聞きください。(保護者対象の巡回展は別途案内があったと思いますので、直接見てお確か めください。)









認知症サポーター養成講座(4年)



1月26日に福祉学習の一環として、4年生を対象とした認知症 サポーター養成講座を行いました。この講座では、地域包括センタ ーの方が「高齢者について」「認知症について」「認知症の人への接 し方・注意事項等」「認知症サポーターとは何か」について、分か りやすく説明してくださいました。

租税教室(6年)



1月27日に社会科学習の一環で、6年生を対象に標記学習を行いました。

「税なかったら世の中はどうなるか」を、 児童に自ら考えさせることを通して、税 金の必要性・大切さを理解するために 行 われました。

6年生の子どもたちも普段あまり意識

していない税金の必要性を学び、札束の見本を持つなどして興味を持って学習に参加していました。

子供のがんばりを紹介します

「大村市子ども美術展」

書の部 優良賞 2年 女子児童 佳作 2年 男子児童

校長室の窓から

「いま ここ じぶん その合計が じぶんの一生」

この言葉は、相田みつをさんの言葉です。「これまで、自分がしてきたことの積み重ねが、今、ここにいる自分をつくっています。だからこそ、これまで上手くいったことも、いかなかったこともすべてに価値があり、無駄なことなど一つもありません。」という意味です。

いよいよ今年度も残すところ1か月と少しになりました。この1年間を振り返って、学校や家庭で、上手くいったこと、いかなかったこと、嬉しかったこと、悲しかったことなど様々なことがあったと思います。それらのすべてのことがあったからこそ、今、ここに自分がいるのです。そして、今、ここにいる自分がしていることが、来年の自分をつくっていきます。